

ユー・ハワイ、ミー・ハワイ!?

宜野座支店長
平田 努



移民県であると、沖縄県民の皆様は自負しているとおもいますが、ご多分に洩れず私の周辺に於いても南米には親戚縁者が沢山活躍をしているものであります。

さて、私の母が南米の兄弟親戚を訪ねて行くことになり、かなりの日数をかけてペルー、アルゼンチン、ブラジルと渡って行ったものでした。戦前よりフィリピン移民の経験もあり、片言のスペイン語も話せるようで、長い日程の旅にもかかわらずいたって意気軒昂なものでした。往路は団体さんと一緒に道中何事もなく、彼の地に着けば親戚の皆様の厚いもてなしを受け、何の不安もなく過ごして、南米の皆様に感謝!!

さて、お話はここから、いよいよ沖縄に帰る事となり、ブラジルの空港より親戚の皆様にのぼりを立ててかどうかはわかりませんが、送り出されハワイ経由で沖縄へと向かったのですが、ハワイへは直接は届きません。ロスアンゼルス空港を経由しなければなりません。一人大空港へ放り出された、東洋の魔女ならぬ、東洋の老婆

如何にこの危機を脱したか、右往左往するばかりでは解決しません。そこで思いついたことは、空港内を行き来するアメリカ人の青年。アメリカ人とは限らないはずですが、そこはわたしたち沖縄の者には、外人はみなアメリカ人ですから!! そのアメリカ青年をつかまえて、“ユー・ハワイ、ミー・ハワイ”と声掛けをしたのです。その青年は、荷物をいっぱい抱えた、東洋の老婆の窮状を察し、ハワイへ行きたいと言う事も、見事に伝わり、かの青年に、手を引かれてかどうかは定かではありませんが、ハワイ行きのカウンターまで、案内してくれたそうです。ロスアンゼルス空港は巨大空港で有名です。その様な所で、見事な機転を働かせ、窮状を脱した話を聞かされたものでしたが、私だったらどうしていただろうかと思ひながら、母親の勇気と、行動力には驚かされました。翻って自分の小ささを省みる事になり…。まあ、なんとか、あとひと踏ん張り、コツコツと小さなことから頑張りますか…。

大規模地震による液状化について

代表取締役会長
松川 清伯

非常に強い台風24号、25号がたて続きに沖縄県を襲いましたが皆様には被害はありませんでしたか。台風常襲地・沖縄ならではの対策を講じて被害は最小限に食い止めたものと推察いたします。さて、沖縄県に於いても大きな地震は起きるものと云われています。今回は地震における液状化現象について考えてみたいと思います。

地盤は、土、砂、空気、水がバランスを保った状態になっていて地面を構成しています。液状化の発生しやすい場所は、海岸沿いの埋め立て地、干拓地、旧河道、旧湖沼、比較的最近の造成地等地下水水位が高い地形です。

液状化の起こりにくい土質は、粘土、粘土混じり砂礫、シルト混じり礫、石灰岩等は液状化の発生は無いといわれています。土質調査による土壌解析により確認できます。

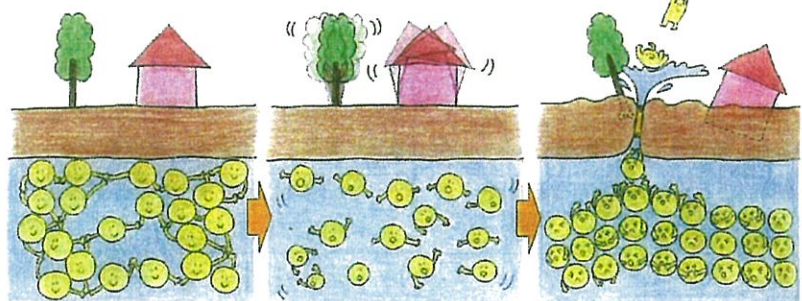
液状化は、震度5以上の大規模地震で発生しています

が、比較的長い時間揺れていたなど複数の悪条件が重なっている地域では震度4でも液状化が発生する可能性があります。

液状化を防ぐ方法はいろいろありますので、専門家へご相談なされて対策を講じたほうが良いと思います。



道路・宅地の被害[1]
(写真: 民間コンサルタント会社より提供)



液状化3条件

1. 砂地盤であること
2. まだ良く締めかたまりがないこと
3. 地下水水位が高いこと



※文献2)より転載



発行所/ (有)桜設計工房
所在地/ 那覇市港町2-7-7
みなと277 4F
電話/ 098 (867) 5987
FAX/ 098 (863) 7690
E-mail: info@sakura39.biz
http://www.sakura39.biz
発行人/ 喜名英之

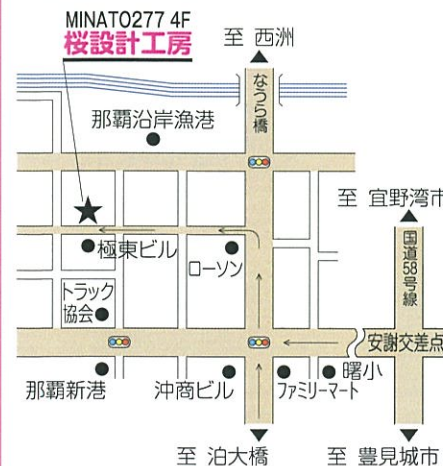
西原支店/ 西原町小波津233-16
電話/ 098 (946) 5066
FAX/ 098 (863) 7690
宜野座支店/ 宜野座村字慶慶1829-2
電話・FAX/ 098 (968) 7222

創業/ 昭和61年7月1日

営業種目

- * 建築企画設計・監理業務
- * 特殊建築物等調査・検査報告
- * 耐力度調査
- * 耐震診断・改修設計監理業務
- * 補償コンサルタント業務

企業理念 = 私達は、誇り、使命感を持って顧客の信頼を第一とします。その上で人と自然が共存し、豊かな地球環境を創造して社会の発展に貢献します。さらに建築設計を通して感動、満足、安心を与え、明日への夢と希望を提供します。



ゼロエネルギー住宅と国の政策

(有)桜設計工房
代表取締役社長 喜名英之

みなさん、こんにちは。今年は沖縄県は台風の当たり年ですね。特に24号は大型で非常に強く、たくさんの被害をだしました。地球温暖化が原因とも言われますが、台風の発生数自体は特に増えているということでは無いようです。ただ、勢力が強い台風が沖縄、日本近海を通過する数が多く、発生時期、経路が以前と変わってきた印象があります。

さて国は台風被害の対応に追われている所ですが、その原因と言われている地球温暖化の対応では2017年6月のパリ協定でCO2排出削減を2013年と比較して2030年までに26%減を目標としています。簡単な数値ではありません。といわれています。そこで疑問・・・26%ってどうやって計るのだろう。ちなみに建築業界への取り組みではゼロエネルギー住宅(ZEHゼッチ)、断熱性能を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅やLCCM(エルシーシーエム)(ライフ・サイクル・カーボン・マイナス)住宅、は、建設時、運用時、廃棄時において出来るだけ省CO2に取り組み、さらに太陽光発電などを利用した再生可能エネルギーの創出により、住宅建設時のCO2排出量も含めライフサイクルを通じてのCO2の収支をマイナスにする住宅です。これらの建設に補助金が付きまます。補助金申請の際に具体的な熱負荷の計算が必要になり、それを明確化されることによりCO2排出量の低減が数値化できるということです。住宅関連のCO2排出量は多く、そこは避けて通れないでしょう。本土の住宅は木造が殆どで木造住宅での対応が進んでいるようです。しかし、大きな開口部は断熱性能が落ちますし、RC(鉄筋コンクリート)造は熱を通しやすい、コストに係るなどRC住宅の多い沖縄では課題もあります。今後、琉球大学と建設会社が協力して研究していく旨新聞発表がありました。国は2030年には新築の平均をゼロエネルギー住宅にする目標を掲げており、沖縄の住宅も対応が必要になるでしょう。現在、沖縄のRC造のゼロエネルギー対応住宅はまだ少ないですが、今後増えていくのではないのでしょうか。



渡嘉敷幼稚園が完成しました。
RC造2階建て、床面積481.61㎡
保育室、図書スペース、職員室、遊戯室

ツバメの季節

大城 哲男



爪痕を残した台風24号とともに9月も去り、涼しい風を感じる季節10月になりました。定例の設計会議を済ませ帰路の南城市を車で移動する途中、「ツバメ」の群れが目の前を急旋回しながら飛んでいる。「ツバメの飛ぶ」季節になったのかと思いつつ、今の時期(秋口)だったなという思いが?。調べてみると日本には春先に飛来し、4月から7月ごろ産卵して子育てを、10月ごろ越冬地である「台湾、フィリピン、ボルネオ島、マレー半島、ジャワ島など」へと渡っていく。子育ての時期はそれぞれの巣で個々に行動するが、子育てが終わると他のツバメたちと群れをなして行動する。秋の風物詩である「ツバメの飛翔」を見るのは、日本を飛び出していく時期なのだと思えて納

得した。
日本においては、害虫を食べてくれる益鳥として古くから農村部を中心に大切に扱われてきた。「人の住む環境に営巣する」という習性から、地方によっては、「人の出入りの多い家」と考えられ「商売繁盛の印」ともなっているようである。また、ツバメの巣のある家は「安全」であるという言い伝えもあり、巣立っていった後の巣を大切にすることも多い。現在、自分自身が携わった建物への「営巣」の情報は聞かれないが、「人にも、自然にも優しい」設計を志すことが大切なことでも改めて考えさせられた。

はじめまして

安里 佳菜

はじめまして。入社して早くも約半年が経過し、この度さくら通信にも参加させて頂くことになりました。4月初めは緊張してばかりで、分からないことや不安でいっぱいでしたが、先輩方の優しいご指導のおかげで、今では入社当時に比べて職場に慣れてきて、日々楽しく仕事に励むことができています。
現在は、先輩方とともに設計業務に関わっています。最近では、BIMソフトを使用して設計を行う形もあり、新しい設計業務のスタイルが生じています。2Dから3Dへ、平面の図面から模型のように立体的に見えることで気づく点があり、打ち合わせ等の様々な場面です

躍りそうです。BIMソフトもそうですが、技術や情報は常に更新しており、視野を広くして日々勉強していく必要があると思いました。学生の頃とは違った緊張感と責任感をひしひしと感じております。今後多くの仕事を任せられるように、精一杯努めてまいります。

今回のさくら通信から、私はどんなテーマで記事を書こうかなあと悩みつづ……絵を描くことが好きなので、少しイラストを添えてみようと思います。楽しんでいただくと幸いです。まだまだ未熟な身ですが、これからどうぞ、よろしくお願い致します。



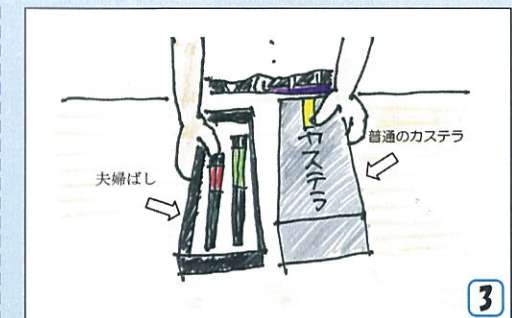
修学旅行で長崎へ行きました。

お土産

崎原 利克



お土産持って元気に帰宅



じいちゃん、ばあちゃんにはこれ



なんとカステラが、桐の箱に入ってます。

骨折 : エピソード1

島 正道

先日、バイクにて出勤途中、コケてしまった。スピードも無く他に衝突していないので大した事ではない自損行為。すぐに倒れたバイクを起こそうと、自分が立ってみたものの、右足ヒザに違和感あり?あれ?激痛?WHY?その場で一瞬立ち尽くしてしまうこと数分、たまたま近くを通りかかった人が手伝ってバイクを起こしてもらいました。助けてもらった人(病院関係者)が私の足の様子を見て、「病院に行ったほうが良い」と近くの病院に直行!整形外科にて、先生の信じられない一言。「あー、折れてますね!」からの人生初の骨折確定!先生の電光石火の手際よさで、右足モモからカカトまで右足全て包帯巻きにされ、シーネ(半ギブス)の装着完了。即入院との流れになった。
診察が終わると病室に案内され、勿論歩くことが出来ないで車イスにて移動。初めての入院の為、密かに何か楽しい事があるかなあ?何泊かなあ?と少し期待もあった。今にして思えば、私はアンポンタンであったのである。ほんの数時間前まで、想像もしてなかった骨折により入院。当たり前が出来ない不便な生活の始まりだった……。



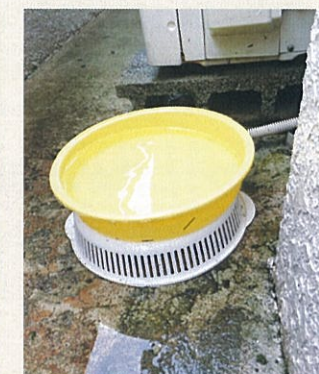
ちょっとしたことですが、

伊禮 奈津子

去った台風24号、本州を縦断しながら多くの被害をもたらしました。台風慣れしている私たちも不安や脅威を感じながら無事に去ってくれるのを祈りながら過ごしていました。
家には、室外機を置く程度のベランダがあり排水の為の目皿がありますが、周囲から飛んできた葉っぱが目皿を覆い排水に支障が起こります。その対策として周囲をザルで囲い水はけをよくすることにしています。本来、設計の中でオーバーフロー対策は必要ですが古い建物には設けてないのも多いようです。
このやり方で乗り切りましたが、この先はクーラーのスリーブ開けのようにベランダ手摺の負担のない場所に穴を設けようかとも思っています。



↑目皿の溝だけでは不安です。



↑風が強くなると上に重しを載せて飛ばないようにしています。

出ました!! 金のエンゼル

上原 麗奈

小さい頃から馴染みの深いチョコボール…。何気なしにスーパーで購入しました。
まだ金のエンゼルを深く知らない娘はエンゼルマークなんて気にもならないようで「おいしい〜♪」と普通に食されておりました。丁度、車の運転中だった私は、まさか彼女のチョコボールに金のエンゼル様がついているなんて、想像もつくわけがない…。丁度信号待ちになったときでした。
私「ねえ?くちばし見た?」娘「いや?」(いや?じゃなくて、まずはそこでしょう!?基本よ!基本!)と心で突っ込んでみる昭和生まれの母。)私「ほんなら黄色いくちばしの横に絵が描かれてない??」娘「うん、あるよ。」彼女の手から急いで奪って叫ぶ私(笑)。大喜びしている私を見て、やっとこの状況が凄いいことなんだと気づく平成娘、御年8歳!!気になりネットで調べ

てみると、金のエンゼルの出現率は3000分の1だとか!?!もしかして宝くじが当たる兆候かもしれない!と欲が出た私の宝くじは見事に当たらず…(苦笑)。届いたキョロちゃんを縁起物だと職員で写真撮影し、しばらくの間は盛り上がりさせていただきました^^これを見た皆様にも幸運が訪れるかも!?

